

私たちにも、できることがある。

2013年5月10～12日の宮城県東松島市における交流ボランティア

～四日市東日本大震災支援の会 第17回派遣～

四日市大学学生用；暫定版 2013年3月26日

四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

<活動の概要>

震災から2年がたちました。われわれが継続的に支援をしている宮城県東松島市では、ようやく集団移転の計画が動き出し、一部では造成工事が始まっています。しかし、まだまだ復興への道のりは長くなることが現実視されています。仮設住宅では、高齢者中心に、孤立・引きこもりなどの問題が深刻で、交流の促進など心の支援が必要とされています。支援の会では、再び高校生と大学生による交流イベントを企画しました。この交流を通し、われわれができる東北支援を考え、さらには近い将来に予想されている東南海地震への備えをするきっかけになればと考えています。二度と同じことを繰り返さないよう、東日本大震災での経験を共有し、震災の教訓を後世に語り継いでいきましょう。

<スケジュール概要>

- 5月10日(金曜)：18：00 四日市看護医療大学 40B 教室集合、事前打ち合わせ
⇒19：30 出発(四日市大学バス停)
- 5月11日(土曜)：宮城県東松島市～激甚被災地を視察(被災者の方から災害のことを聴きます)
⇒ 東松島市矢本運動公園仮設住宅「東集会所」交流ボランティア活動
⇒ 東松島市出発(途中仙台で入浴・食事)
- 5月12日(日曜)：朝7時頃に四日市大学帰着 ⇒ 片付けと振り返りミーティング(約2時間)

★仮設住宅交流ボランティアの概要

- ・足浴+血圧測定(四日市看護医療大学が企画・実施、高校生が補助)
- ・三重のお茶とお菓いで交流(四日市大学が企画・準備、全員で実施)
- ・子どもたちと遊ぼう！(高校が協働で企画・実施)
- ・仮設住宅を全戸別訪問して見守り巡回(高校が協働で企画・運営)
- ・東松島と四日市のフラダンスチームが、ハワイアンバンドの生演奏をバックにパフォーマンス

★持ち物(必ず3つに分けてください)

- <座席に持ち込み、現地でも携行する荷物。小さなバッグなど>
- ・筆記用具(小さなメモ帳が便利です)
 - ・健康保険証・常備薬・歯磨きセット
 - ・お金(親戚やお友達などに、たくさん土産を買ってくることも、大きな経済的支援です)
 - ・かさ・帽子・電池式携帯充電器
 - ・エプロン(午後の交流会では、全員が着用します)
 - ・ボランティア活動保険証書(支援の会で加入し、当日お渡しします)
- <座席に置いたままにする>
- ・バス内でのマクラ・クッションなど(長距離を快適に過ごすために必要です)
- <行きはトランクに置き、帰りに座席に移動させ、入浴後は着替えたものをトランクへ>
- ・タオル、着替え(帰りに入浴します)、ビニール袋

★服装(現地の気温や天気を調べて調整を各自お願いします)

- ・華美な服装は慎んでください(午後の交流会ではエプロン着用)
- ・車内はリラックスできる服装でOKです。
- ・運動靴など歩きやすいもの(見分けやすい靴袋を用意してください)

★申込方法・参加費(四日市大学・四日市看護医療大学の学生)

申込：下記鬼頭アドレス宛に、以下の項目を送付ください。

★氏名・フリガナ・学籍番号・性別・生年月日・郵便番号・住所・携帯番号
・緊急連絡先・携帯アドレス(携帯番号などは、東北支援に関連する連絡に使います)

参加費：大学生 8,000 円(支援の会スタッフ(現地活動5日以上の実績)は 1000 円)

★新入生は、特別に、5,000 円で参加できます。

★往復バス・現地昼食・入浴・帰着時朝食・旅行保険・ボランティア保険の代金

*学生は、保護者の**参加同意書を提出**してもらいます。

申込先・参加費支払先(締切：4月末)

四日市大学：担当鬼頭；固定電話：059-340-1902 メール：kito@yokkaichi-u.ac.jp

がんばろう、
日本。

行程詳細

★5月10日(金)

18:00 四日市看護医療大学4階、40B教室に集合

1. 参加者全員で直前ミーティング
2. 名札・ボランティア保険証書を配布します(活動中は必ず首にかけてください)
3. 支援の会の学生リーダー挨拶
4. 各学校の代表者がメンバー紹介と意気込みを語る!

19:30 四日市大学出発(四日市大学バス停裏の職員駐車場)

1. 座席は指定します
 2. 最初の休憩(刈谷)では夕食の購入、2回目の休憩で歯磨きなど寝る準備をしてください
 3. 就寝(完全消灯をします。**全席フルリクライニング**)
- * 途中トイレ休憩はとりますが、ガマンできなくなる前に運転手に申し出てください。

★5月11日(土曜)

5:30頃 起床 ⇒ 春日サービスエリアで朝食(各自負担)と洗顔(30分程度の休憩)、着替え

7:00より被災地の視察

1. 宮城県東松島市・石巻の激甚被災地をバス車内から視察
2. 写真撮影は少なめに、被災者の気持ちを考慮しましょう
3. 被災地で降車し、被災者より震災のことを聴かせていただきます

9:00 矢本運動公園仮設住宅集会所に到着、降車・荷物搬入・ミーティング

1. バスは夕方まで別の場所に移動して運転手さんが休まれます。クッションなどは車内に。
2. 名札をつけてください
3. 個人の荷物の置き場所は指示します
4. 全員でミーティングを行います

9:30から準備と個別訪問(11時半までには終了して集会所に戻る)

1. 戸別訪問チームは、高校生・大学生混成(3人×5班)、手分けをして案内配布
2. 準備チームは、集会所内の配置を決めて準備開始

11:30から集会所にて昼食(弁当を支給します)

12:15には交流会実施体制を整えてスタンバイ

12:30より交流ボランティア(告知は13:00としますが、早めにスタートします)

1. 12:30より足浴・お茶会・子どもと遊ぼう! スタート
2. 16:00から片付けと荷物の取りまとめ

15:30より「武道館」でフラダンス・パフォーマンス

17:30より片付けと掃除

18:00 活動場所出発 ⇒ 仙台に移動

1. 19:00 極楽の湯 仙台南店で入浴(入浴代は支援の会負担)and 夕食(各自負担)
2. 21:00 現地出発
3. バス車中泊ですが、消灯前に活動を振り返り、全員から感想や考えたことを発表してもらいます
4. 就寝(トイレ休憩を数回予定しています)

★5月12日(日曜):朝7時頃に四日市大学帰着 ⇒ 片付け

1. 朝食(支援の会が支給します)
2. 振り返り・情報交換会 ⇒ 11時頃には解散します

* フラダンス・チームと一部の学生は延泊し、12日にも2か所でパフォーマンス&交流会の予定

<注意点、守るべきこと>

- ・被災者の気持ちに寄り添い、傷つけるような言動をしないこと
- ・積極的に被災者に対し、家族や友人、お姉さん、お兄さんのように笑顔で接しましょう
- ・家族を失ったり、家を流されたり、被災者が大変な経験をしていることを常に忘れないでください
- ・指示されたことだけでなく、自分で考えて行動しましょう
- ・名前や職業・住所を聞くことは、基本的にNGです
- ・写真撮影は深い絆ができてからにしましょう
- ・**活動中の写真や映像が、ホームページや報道で使われることがあります。了承ください。**

<高速バス運行体制>

本会の東北派遣では、費用よりも安全という考え方を徹底しており、運転手2名体制での運行、運転手の現地で十分な休息確保をしております。今後は、さらに安全運行を徹底するよう、会としても努力を続けます。

* JTB総合提携店(株)第一観光(担当:黒田真史)を通じ、名阪近鉄バスで宮城県を往復します。